

Press Release

報道関係者各位

世界初！

愛知ターゲットの中間評価を市民・企業が行い、 世界に発信する取り組みを関西から

国際自然保護連合日本委員会（スイスに本部を持つ世界最大の自然保護機関 IUCN の日本委員会、東京都中央区、会長：吉田正人、以下 IUCN-J と表記）は、生物多様性協働フォーラム事務局（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社、兵庫県立人と自然の博物館、特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク）、及び IUCN-J 加盟団体等と共に、**第1回にじゅうまるプロジェクトパートナーズ会合（略称：にじゅうまる COP1）**「どうする愛知目標？どう変えよう？私たちの暮らし～2014 中間報告へのインプット」を下記の通り、開催致します。

1. 開催趣旨

にじゅうまるプロジェクトは、COP10 で採択された愛知ターゲットの達成に向けた相互の協力を宣言する取組であり、2011年10月8日に発足しました。これまでに「にじゅうまる宣言」は、市民・企業など多様な主体からなされ、現在200を超えています。2014年10月には韓国において、第12回生物多様性条約締約国会議（CBD-COP12）が開催され、国際的に愛知ターゲットの中間評価が行われる予定です。第1回にじゅうまるプロジェクトパートナーズ会合では、日本国内の愛知ターゲットの達成に向けた取組状況、及び個別目標毎のこれまでの成果等を民間視点で評価し、COP12 に発信する情報を取りまとめることを目指しています。また、本会合は、愛知ターゲット達成に向けた活動団体が交流する機会として、それぞれの活動が相互に刺激し合い、日本の取組全体が拡大する場となることが期待されています。

2. 開催主体

主催：国際自然保護連合日本委員会

共催：生物多様性協働フォーラム事務局（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社、兵庫県立人と自然の博物館、特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク）、日本自然保護協会、WWF ジャパン、CI ジャパン、経団連自然保護協議会、特定非営利活動法人野生生物保全論研究会、国立環境研究所、ラムサール・ネットワーク日本、一般社団法人 CEPA ジャパン、生物多様性かんさい、国連生物多様性の10年市民ネットワーク、四国生物多様性ネットワーク

協力：特定非営利活動法人大阪自然史センター

後援（予定）：外務省、環境省、国連生物多様性の10年日本委員会、大阪府立大学

3. 開催概要

日 時：2014年2月15日(土)10:00~20:00, 2月16日(日)9:30~16:15
 会 場：大阪府立大学 I-site なんば カンファレンスルーム
 (〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号 南海なんば第1ビル2階)
 参加費：資料代 500円

4. にじゅうまる COP1 を構成するプログラム

■全体会合

にじゅうまるプロジェクトのこれまでの成果(事例発表含む)、今後のプランを話し合います。

■にじゅうまる COP1 記念フォーラム

いま注目の「自然資本」をキーワードに基調講演およびパネルディスカッションを行います。

基調講演者：ジョナサン・ヒュー氏 (IUCN 地域理事/スコットランドワイルドライフトラスト)

パバン・スクデフ氏 (コンサベーション・インターナショナル理事)

パネルディスカッション登壇者：(調整中)

■分科会

愛知ターゲットの目標に関わる13の分科会に分かれ、これまでの日本国内の愛知ターゲットの達成に向けた取組状況、及び個別目標ごとの成果等を検討します。

【分科会のタイトルとコーディネーター団体 (2013年11月5日現在)】

1	つなぐ!活かす!地域の活動&生物多様性の 広域情報-国立環境研究所	7	田んぼから始まる!生きものにぎわい -ラムサール・ネットワーク日本
2	皆様からの具体事例、大募集。 「東北グリーン復興」を加速せよ!- 一般社 団法人 CEPA ジャパン	8	生物多様性アート化大作戦 -国連生物多様性の10年市民ネットワーク
3	危機をワクワクに~文化と生物多様性最前線 -生物多様性かんさい	9	博物館を活用した生物多様性の普及・活動・ 施策-西日本自然史系博物館ネットワーク
4	行政・市民の本音を地域戦略促進に活かす -生物多様性協働フォーラム	10	四国地域の生物多様性戦略をどのように実現 するか-四国生物多様性ネットワーク
5	企業とNGOによる協働から生まれる生物多 様性保全-経団連自然保護協議会	11	生物多様性資源動員!自然を高く売る、10 の秘訣。-一般社団法人 CEPA ジャパン/三 菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
6	湿地のグリーンウェイがつなぐ人と自然 -ラムサール・ネットワーク日本	12	目標 3 奨励措置を地域の視点で考える- NPO 法人 野生生物保全論研究会 (JWCS)
		13	どうなる?どうする? 海の保護地域(目標 11)-日本自然保護協会

■交流会

全国から集う、地域、立場、フィールドの垣根を越えた人の多様性（ダイバーシティ）との交流をお楽しみください。交流会参加費 2,000 円（立食パーティ形式）

■展示

全国各地の工夫に富んだ愛知ターゲットに向けた取組が、ポスター展示コーナーや、物販ブースにおいて、出展する予定です。

■スケジュール案

	2月15日（土）	2月16日（日）
午前	10：00～12：00 全体会合	9:30-11:30 分科会
午後	13：00-16：30 にじゅうまる COP1 記念フォーラム 16：30－18：00 展示スペースにてポスターセッション	13:30-15:30 分科会 16：00-16：15 閉会式
夜	18：00～20：00 交流会	

5. お申し込み方法

下記の WEB サイトのお申し込み専用ページより、お申し込みください。

WEB：<http://www.murc.jp/bd20/COP1.html>

◆本件に関するお問い合わせ先

国際自然保護連合日本委員会 にじゅうまるプロジェクト担当：道家、石黒

TEL：03-3553-4109 FAX：03-3553-0139 Mail：event@iucn.jp

WEB：IUCN-J <http://www.iucn.jp/>

にじゅうまる COP1 特設ページ <http://bd20.jp/cop1>

【参考】

にじゅうまるプロジェクトとは：

2010年日本にて開催されたCOP10で採択された世界目標「愛知ターゲット」を達成するため、①生物多様性を守るための20の目標の普及、②生物多様性の重要性を伝える活動や、生物多様性保全をしているNPO・企業・自治体の宣言を当プロジェクトに登録してもらい、その登録活動を発信していくことで生物多様性を保全する活動を国民的ムーブメントにしていこう、というキャンペーンです。現在の登録数は155団体、218事業となっています。

生物多様性協働フォーラムとは：

生物多様性協働フォーラムは2011年度より、生物多様性協働フォーラム事務局（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社、兵庫県立人と自然の博物館、特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク）が中心となり、関西各地の行政機関、地方自治体、民間企業、大学・博物館、市民団体等、多様な主体と連携し、生物多様性保全の普及啓発を行っています。これまでに本フォーラムは、関西各地で計6回開催されており、生物多様性と社会の関わりについて、既存の枠組みを超えた新たな連携や、市民や企業の参画のあり方を意見交換し、関西各地の生物多様性の価値や今後の生物多様性保全の在り方を発信しています。